

オール甲賀で考える甲賀の未来  
タウンミーティングについて  
(結果報告)

平成31年1月

## 1. 実施概要

### (1) 開催概要

タウンミーティングの実施状況について、以下表に示す。

#### ・タウンミーティング実施状況

開催日	会場	時間	人数
11月26日(月)	土山開発センター (土山会場)	19:30~21:30	41人
11月29日(木)	かふか生涯学習館 (甲賀会場)	19:30~21:30	74人
12月15日(土)	かえで会館 (甲南会場)	10:00~11:50	27人
12月16日(日)	水口社会福祉センター (水口会場)	14:00~15:30	42人
12月18日(火)	信楽伝統産業会館 (信楽会場)	19:30~21:20	43人
12月23日(日)	水口社会福祉センター (まとめ)	10:00~11:50	20人
	合計		247人

### (2) 内容

《各地域ラウンド》

- 1) タウンミーティングの趣旨について説明
- 2) 市長から あいさつ及び市の現状について説明
- 3) ワールドカフェ方式による意見交換
  - ・各テーブルでの意見交換
    - ① 公共施設をどのくらい利用していますか。
    - ② 大切な公共施設、無駄な公共施設はありますか。
    - ③ 私はこんなアイデアをもっているのだけれど。
  - ・意見発表
- 4) 市長、副市長、教育長からコメント

～土山会場～



～甲賀会場～



～甲南会場～



～水口会場～



～信楽会場～



《まとめラウンド》

- 1) タウンミーティングまとめラウンドの趣旨について説明
- 2) 各地域での意見・質問、アンケート結果の報告
- 3) 公共施設の最適化に向けた取り組みについて説明
- 4) 意見交換
  - ・各テーブルでの意見交換
  - ① 今日の話聞いて思ったこと。(アンケート結果、公共施設の最適化の進め方など)
  - ・意見発表
- 5) 市長、副市長、教育長からコメント

～まとめラウンド～



## 2. タウンミーティングで出された意見について

### (1) 各地域会場で出された主な意見について

Q 1. 住民の命に関わる施設運営については市が責任を持つこと。

A 1. ○「市民の生命・財産を守る」ことは自治体の責務です。  
○南海トラフ地震など大規模災害を見据えて検討します。

Q 2. 廃止された施設の使い方の検討。

A 2. 廃止となった施設は、①用途変更、②民間貸与及び譲渡、③除却（処分）の使い方が考えられます。

Q 3. 複合化・集約化を推進すべき。

A 3. 地域の「拠点性が高い施設」に同じ機能を集約したり、異なる機能を複合したりできるよう、市民の皆さんとの合意形成を進めます。

Q 4. ハコモノは最小限に。

A 4. 必要な施設はしっかりと維持したうえで、子育て、教育、福祉等の「未来への投資」を重視します。

Q 5. 施設それぞれに思い入れがあるので、減らすのは難しい。

A 5. 公共施設は、地域の暮らしの拠点となっており、「一律」に減らすことは難しいかもしれません。皆さんとの丁寧な議論を踏まえ、地域に合わせた「納得感」のある統廃合を進めます。

Q 6. 統廃合は一定必要。ただし、一極集中ではなくバランスをとってまとめること。

A 6. ○「一極集中」のコンパクトシティではなく、「多極型」で考える必要があります。

○5町それぞれ違う、住民の行動範囲、買物、医療機関の配置など、官民合わせた「暮らしの拠点機能」として考えます。

Q 7. 女性や20～30代の若者の思いをアウトプットして、本当に「全市民」で今後の甲賀市を考えていかないといけない。

A 7. ○女性や若者の参加を促すための手法について検討するとともに、「オール甲賀」で議論ができる環境づくりに努めてまいります。

Q 8. 何より「固定資産税」を守ることを考えるべき。

A 8. ○人口減少により、市内全域の土地利用ニーズが低下し、全ての地域で地価が下落傾向にあります。

○公共施設の立地、機能、整備計画を明らかにすることで、民間投資を呼び込み、エリアの「地価を維持する」必要があります。

Q 9. 昔と比べて、活動範囲が広がり利用方法も変わった。利用頻度を考えて整理すべき。

A 9. ○施設を整備した時期から見ると、社会状況や雇用状況、ライフスタイル移動手段も大きく変化しています。

○ご意見のとおり、今の時代に合わせるとともに、「未来からの視点」で施設を整理すべきと考えます。

Q 1 0. 議論するためには、公共施設の利用率などを示して欲しい。

A 1 0. 今後、さらに具体的な施設の整理を進めるにあたり、施設の利用率、コスト等の情報を明らかにしてまいります。

Q 1 1. 公共施設の利用について税負担もやむなし。

A 1 1. 施設の利用については、適正な価格で貸出ができるよう、見直しを進めてまいります。

Q 1 2. ○施設へのアクセス整備が必要。(公共施設の複合化と公共交通のルートはセットで考えること。)

○コミバスをコミタクへ (コミバスの利用見直し)

A 1 2. ○生活圈から距離があるなど、徒歩での利用が困難な施設もあります。

○コミュニティバスをより利便性の高い仕組みに変えてまいります。

○一方で、高齢者が増えていく状況においては、より利便性の高い場所に移転、複合化することも視野に入れなければなりません。

Q 1 3. 利益をあげられる公共施設の利用を考えるべき。

A 1 3. 公共施設で「稼ぐ」また、公共施設の周辺が「稼ぐ」ことは、維持管理費の低減だけでなく、地域経済の循環につながります。

Q 1 4. ○年齢によって利用する施設が違うので、「家族」といった視点で議論してはどうか。

○子どもからお年寄りまで包括的に集まれる施設が必要。

○公共施設のモール化。(福祉相談、貸し館、お買い物)

A 1 4. ○特定の世代のみが利用する公共施設は、利用者が限定されるため、その年代を過ぎると利用しなくなります。

○できるだけ多世代で利用できる機能を複合化することは、多世代交流を実現するとともに、コスト低減を実現することができます。

Q 1 5. 民間と共存するため、施設の役割を確認すること。

A 1 5. ○過去に整備された公共施設によっては、その後、民間事業者が参入するなど、現在の社会情勢に合わない施設があるのかもしれませんが。

○民間でできることは民間にお願いするなど、役割分担の見直しを進めます。

Q 1 6. 旧町単位で話し合うのではなく、垣根を越えて、検討してはどうか。

A 1 6. ○スケールメリットを活かした公共施設の統廃合を検討いたします。

○地域によっては、旧町単位ではなく、町域を跨いだ公共施設利用のほうが利便性が高いケースもあります。

## (2) 各地域会場で出された、その他の意見について

分類1	分類2	意見等概要
安心・安全な施設の管理	安心・安全の確保	誰もが安心して利用できる施設にすべきである。
		保育園、小学校について安全性に問題があるところは早急に対応すること。
更新時期の平準化と総量抑制をはじめとしたトータルコストの縮減	施設の統合・廃止	市民を第一に考え、取り組んで欲しい。
		行政判断で施設の整理統合をしてください。
		地域に任ずり提案をすべき。
		貴生川駅前の開発で公共施設の集約してはどうか。
		稼働率が良いところを拠点として複合化してはどうか。
		残す施設はリニューアルすべき。
		統廃合すると、時間的、距離的な問題から利用しづらくなる。
		現状で不要と考えられる施設は、他の機能に転用すべき。
		ただ統合するだけでなく、高齢者もそこに集まれる手立てをして欲しい。
		公共施設に関わる人件費、物件費の削減等、民間法人（NPOなど）に施設管理の委託制度をもっと活用すればどうか。
	市全体で統一的な判断が必要ではないか。	
	各自治振興会に1箇所、核となる施設を残していくべきである。	
	将来を見据えた設計	建設時の費用だけでなく、その後の維持管理費も決して忘れてはならない。
		維持管理の費用は一定必要である。 今回のタウンミーティングの結果を市民に周知して欲しい。
施設の有効活用の推進	利用頻度	費用対効果ではなく必要性に重きを置くべき。
		施設の利用率を上げる工夫をする。
		誰もが使いやすい（高齢者でも）施設であって欲しい。
	施設の有効活用	今ある施設を有効に活用するということを皆が考えるべきである。
		学校は災害時の避難場所となっているので有効活用して欲しい。
		障がい者が集まって活動する場所が欲しい。
		信楽の地域資源（陶器、お茶、歴史）を分かりやすく解説する場所が欲しい。
	民間活力の活用	陶芸を目指す若い人材が安心して暮らせる住まいの確保。
		現在の施設に民間の人材を活用することを検討して欲しい。
		サテライトオフィス、サテライトキャンパスの誘致を。 利用しなくなった建物土地は民間の企業のお力を借りて売却して欲しい。 民間（コンビニ・スーパー）等を活用した窓口サービスの充実。
計画的な管理の推進	総合的な管理体制	財政、公共施設の問題は早急にプロジェクトチームを立ち上げ、具体的な施策に取り組む必要がある。
市民との連携による施設管理	市民との連携による施設管理	地域に密着した施設はその地域で考えていくべき。
個々の施設管理等に関する意見	児童福祉施設	子どもたちが使える児童クラブの充実。
		子育て施設を有効活用して欲しい。（子ども食堂の開催等）
		保育園、児童クラブなどは守りたい。
		甲賀市子育て世代包括支援センターは残して欲しい。
		子どもが少なくなってきたので、子育ては大切だが、集約が必要。
	学校施設	小学校の空き教室を利用すべき。（児童クラブなど）
		子どもは少なくなっているが、地域の学校は大事である。
		学校は最低限あれば良い。
		教育環境の充実を。
		学校を中心とした施設の複合化を図るべき。
		学校の統廃合を進め、利活用の方針を決める。
		旧町域を越えた再編も必要ではないか。
		山間留学やフリースクールで全国から子どもを受け入れて欲しい。
	雲井保育園、雲井小学校は残すべきである。共に地域と密接な関係にあり、統廃合は地域衰退が著しい。	
	図書館	今のまま残して欲しい。（数で考えるべきではない。）
		ネット社会の現在、たくさんの図書館が必要か。
		図書館をひとつにする。
		「図書館」と「図書室」では意味合いが違う。図書館の役割を十分に考慮した見直しをして欲しい。

分類1	分類2	意見等概要
個々の施設管理等に関する意見	図書館	市内の図書館が5つあるが3つぐらいにして、別のものへ活用すれば良い。高齢化が進むなか福祉施設に転用するのが良いと思う。
		使い勝手を良くして欲しい。(利用方法の検討)
		市全体で考えるべき。
		現在の場所を移動するなど複合化を検討しては。
	文化ホール	交通手段を充実して欲しい。
		今のまま残して欲しい。(数で考えるべきではない。)
		文化ホール(市民ホール)はまとめる。
		市全体で考えるべき。
		忍の里プララの機能を充実してもっとにぎわいのある施設にして欲しい。
	公民館	市外からお客さんに来てもらえるようになって欲しい。
		活動に使用する施設は必要。
		公民館各施設をわかりやすい場所に集約する。
		皆が気軽に話し合える場所に変えていきたい。
		町域を取り払って公民館同士の交流の場をつくる。
		公民館または施設の地域への移譲促進。
		地域コミュニティの醸成は公共施設とは限らない。(草の根集会所、寺、神社など)
		水口中央公民館、貴生川公民館新築を望む。(公民館は低料金で時間単位でお借りでき、年齢の幅広く利用しやすい。安全面でも避難場所として活用できる。)
	各地域の公民館は守りたい。(災害時の避難場所、会議、コミュニケーションの場)	
	体育館	貴生川公民館は守りたい。新住民が増えて新旧が交流できるスペースが欲しい。学区全体で催しをすると、人があふれるほどになる。
		新体育館に教室ができるインストラクターを配置願いたい。
	集会所・研修施設	体育館は守りたい。
	資料館	建設中のコアステーションを住民が多様に活用できる施設にして欲しい。
		1箇所に集約するのが望ましい。
		歴史民俗資料館は必要。
	スポーツ施設	紫香楽宮に資料館、道の駅を設置し観光をアピール。
		全天候型ドームは守りたい。
	観光交流施設	B & Gや運動公園等のスポーツゾーンを特徴的な整備に改善できないか。(忍者スポーツゾーン等)
		観光拠点施設の創出と農政で稼ぐ必要がある。
	高齢者福祉施設	水口地域の観光や文化資源とそこに住むボランティアを活用したお金(収入)になる活動、例えば観光ボランティアガイドが旧東海道道筋の施設や曳山山蔵を公開し、説明を聞くことで手数料を徴収するなどはどうか。
		フィランソ土山は必要。
	行政系施設	佐山荘は補修し、残して欲しい。
	保健施設	佐山市民センターはJAの間借りをやめて、佐山荘に移転することを検討して欲しい。
保健センターは守って欲しい。		
行政系施設	産業系施設	鹿深ふれあい市四季菜館を道の駅にして欲しい。
	消防車庫が多い、これを統合できないか。	
	旧甲南庁舎は2階、3階が空いており、無駄が多いため有効活用をして欲しい。	
	地域市民センターのあり方を効果的にしてはどうか。(人員、機能等)	
公営住宅	市民センターは不要、物件費も人件費も無駄になっていると思う。しかし、僻地対策の出張所は必要。信楽センターは信楽支所に戻して、旧町単位の行政機能を充実させるほうが良い。	
	地域市民センターは町民が会議をする大切な施設なので残して欲しい。	
公園	公営住宅を廃止し、補助金で支援や空き家バンクを活用して欲しい。	
	公営住宅の集約化を。(古くなった公営住宅を一箇所に)	
供給処理施設	各地域の公園施設で、地区の公園の維持を全面的に公費で管理されている所と管理されていない所がある。不公平。	
	子どもたちが安心して遊べる公園であって欲しい。	
病院	不燃物処理場は、地域の清掃活動した後、使用しているので必要。	
	不燃物処理場は、地代を払ってまで残さないといけないのか。	
その他施設	信楽中央病院は必要。	
	全国植樹祭のためにも旧林業交流センターの復活をお願いしたい。	
	旧林業交流センターは利用頻度は少ない。	
	信楽高原鐵道の利便性向上。(駅の活用、新駅の設置)	
	公衆トイレは残して欲しい。	
	道路の整備は急務。	

分類1	分類2	意見等概要
個々の施設管理等に関する意見	無駄と感 じる施設	甲南庁舎は児童用に活用してはどうか。
		森林文化ホール。使用者が少ない。
		土山開発センター
		利用頻度の低い体育館。
		水口北部、東部コミュニティセンターは不要、市の職員が常時在中ではなく、趣味等のサークルが利用しているだけなので代用は各集会所でできる。区・自治会事業以外であれば利用料がその集会所の収入源になる。
		甲賀共同福祉センター
		農村環境改善センター
		くすりの学習館の利用方法を検討すべき。
		田代高原の里の有効活用。
		西集会所の3箇所を1本化。
		雲井公民館は活性化センターがあるので不要では。
		多羅尾保育園、教職員住宅は廃止すべき。

### 3. アンケート結果について

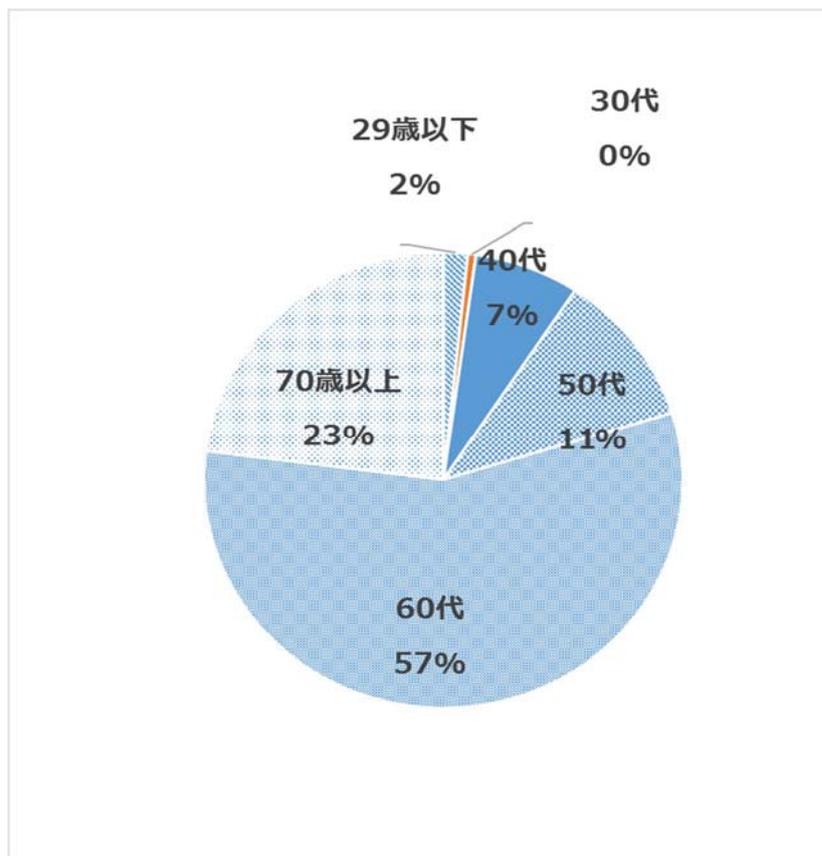
タウンミーティング参加者 227 人中 183 人から回答。(回収率は 80.6%)

(参考)

地域	アンケート回収数
水口	39
土山	32
甲賀	62
甲南	20
信楽	30
計	183

- ・性別では、男性 153 人、女性 30 人から回答。
- ・まとめラウンド参加者に対してはアンケートを実施していない。
- ・甲賀地域の参加者が多かった。
- ・60代の参加者が多かった。
- ・女性、若年世代の参加率が低く、意見を聴くことができなかった。

#### 回答者について (年齢別)



問1. 過去1年間で、市内の公共施設をどの程度利用されましたか。

(単一回答)

【全域】

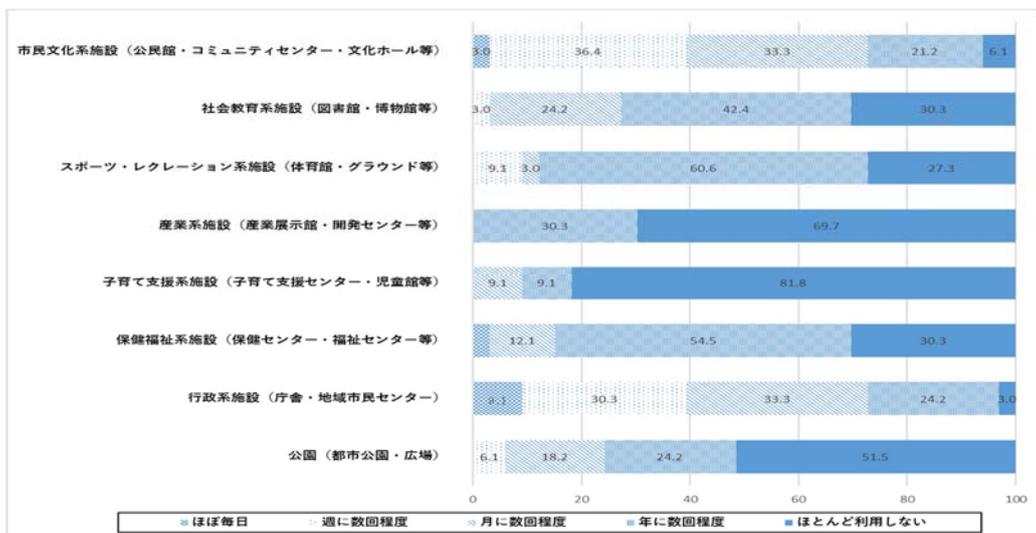


○市民文化系施設、行政系施設は、「ほぼ毎日」～「月に数回」の合計が50%を超えている。

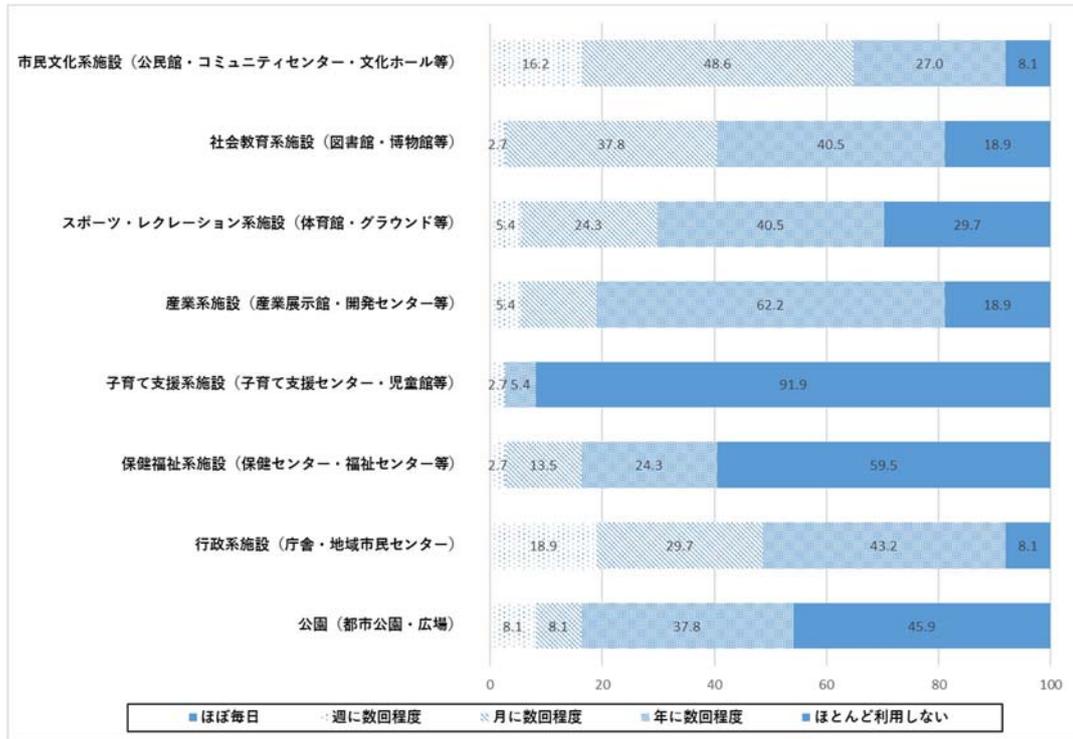
○スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設、子育て支援系施設、保健福祉系施設は、「年に数回」「利用しない」の合計が80%を超えている。

《以下 参考資料》

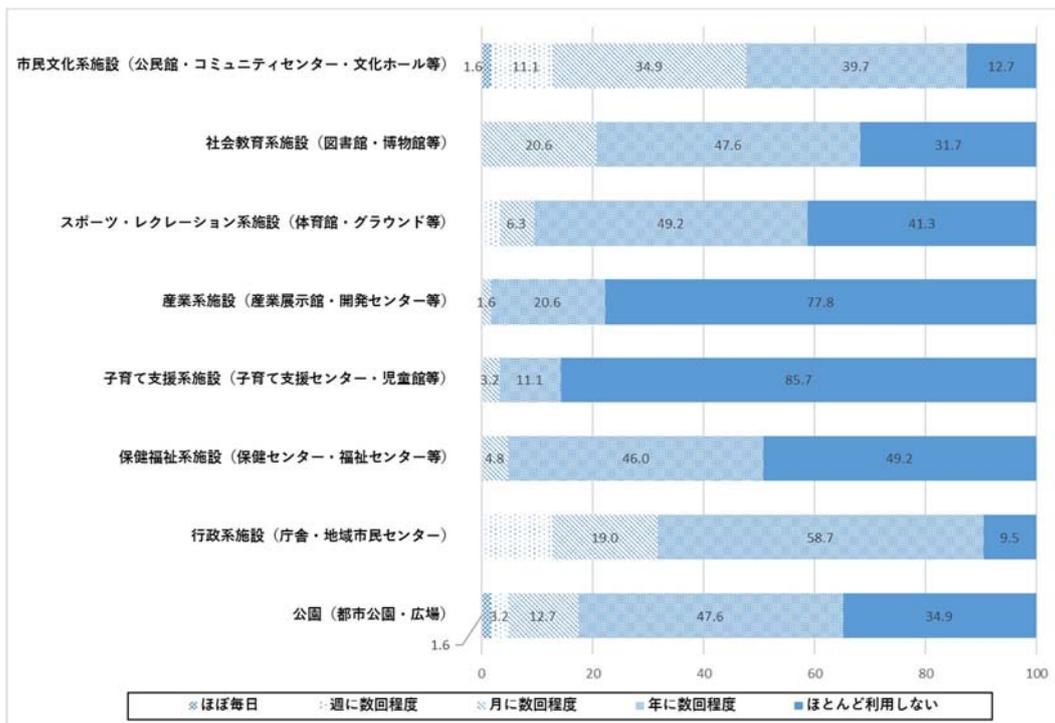
【水口地域】



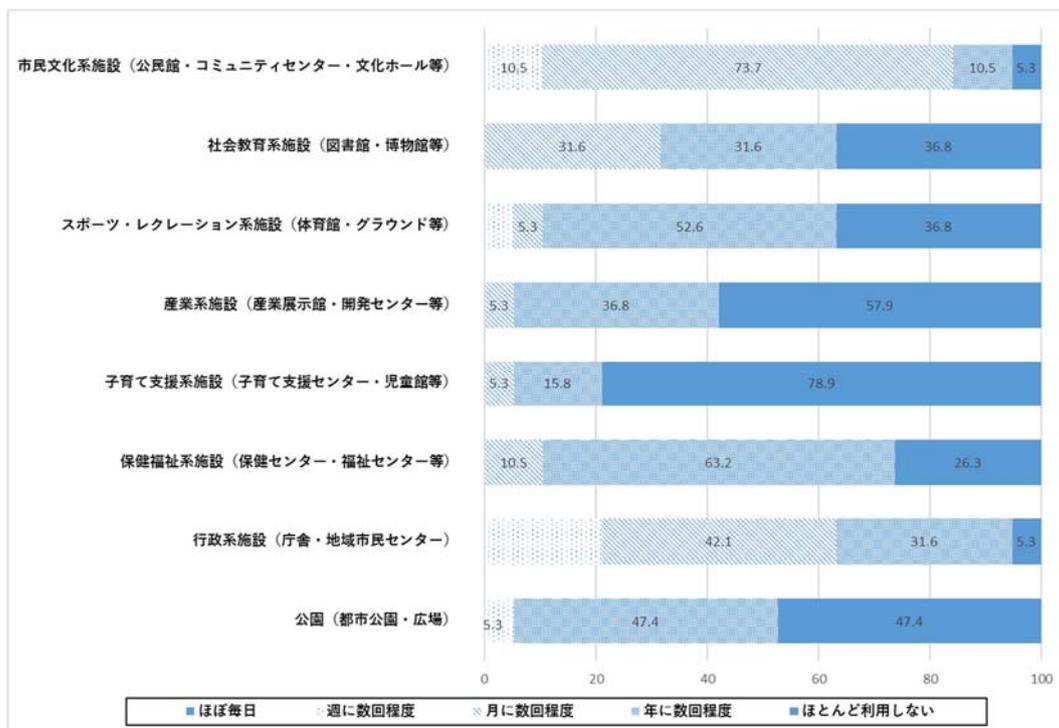
【土山地域】



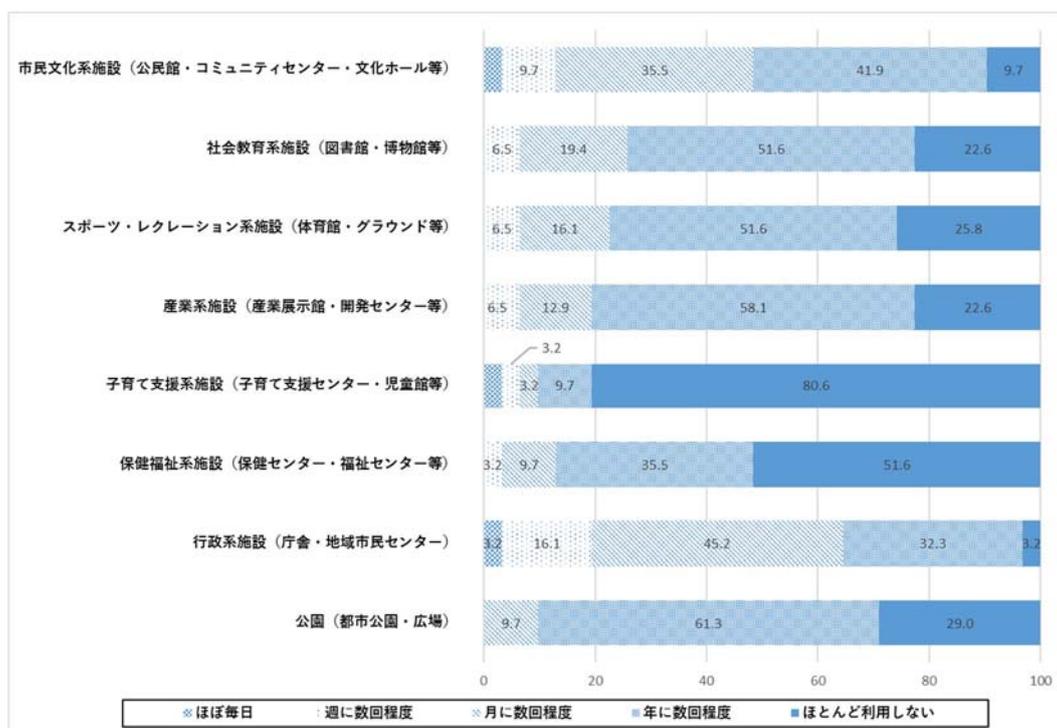
【甲賀地域】



## 【甲南地域】



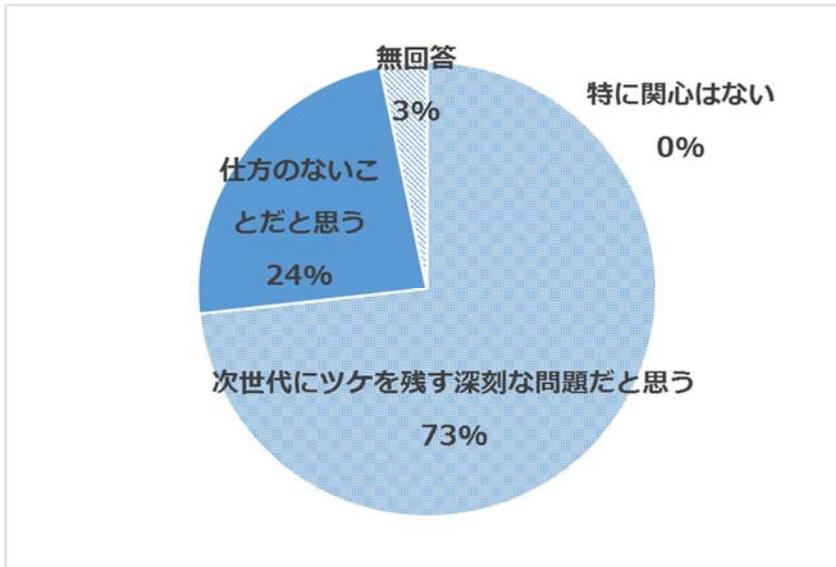
## 【信楽地域】



**問 2. 公共施設の老朽化が進み、今後必要となる維持管理費について**

(単一回答)

**【全域】**

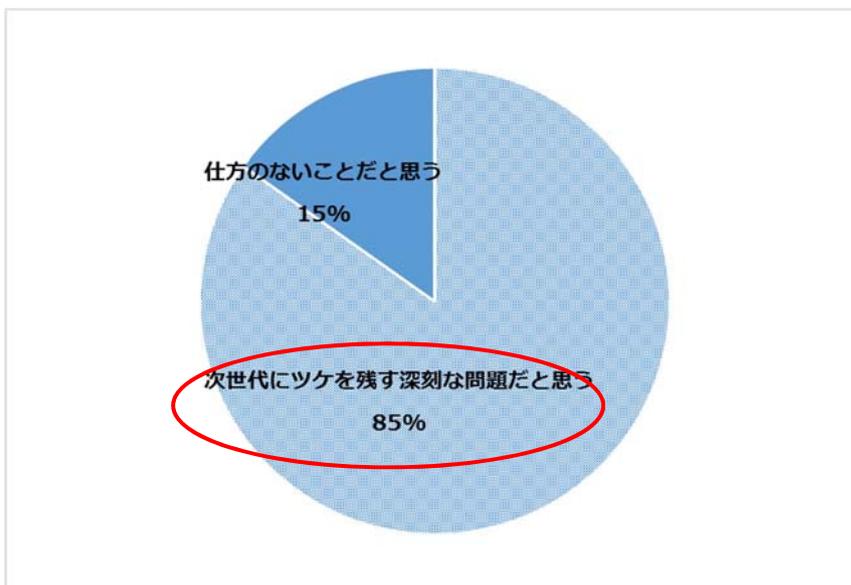


○全体としては、「次世代にツケを残す深刻な問題だと思う」が7割を占めており、公共施設の老朽化や維持管理費用の問題に危機感を感じている。

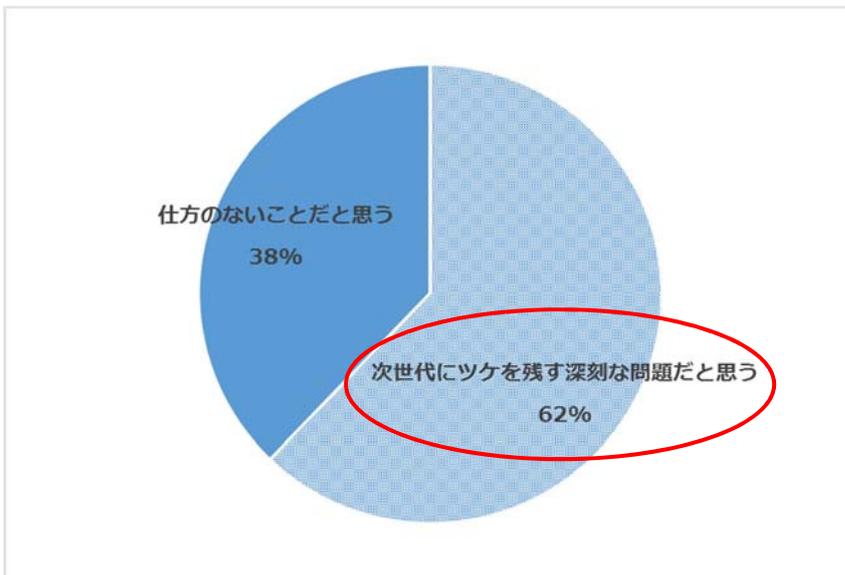
○水口、甲南地域では、約8割が「次世代にツケを残す深刻な問題だと思う」と回答している一方、土山地域では、その割合が約6割となっており、「仕方のないことだと思う。」の回答割合が多くなっている。

《以下 参考資料》

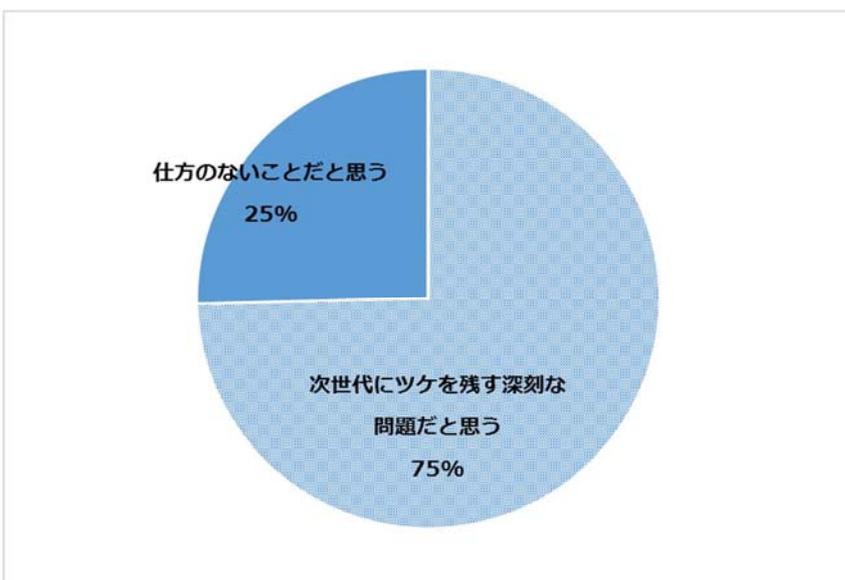
**【水口地域】**



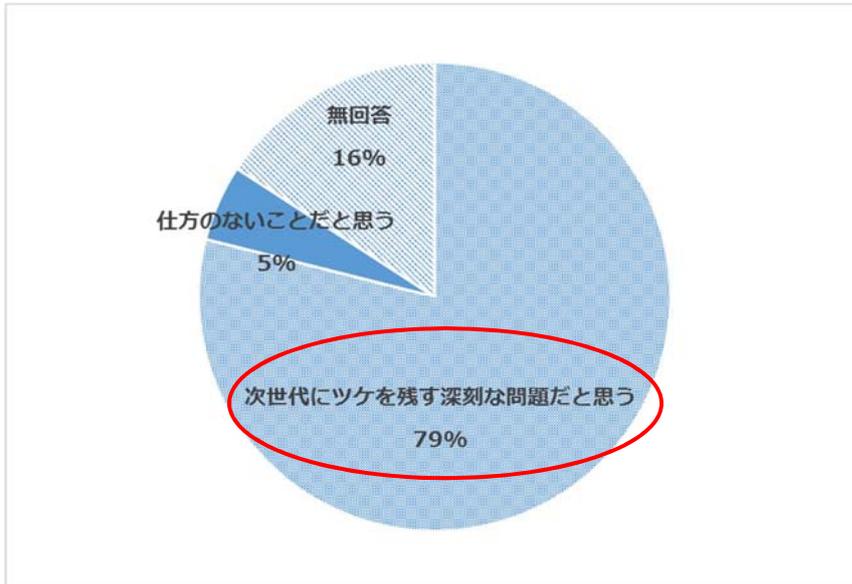
【土山地域】



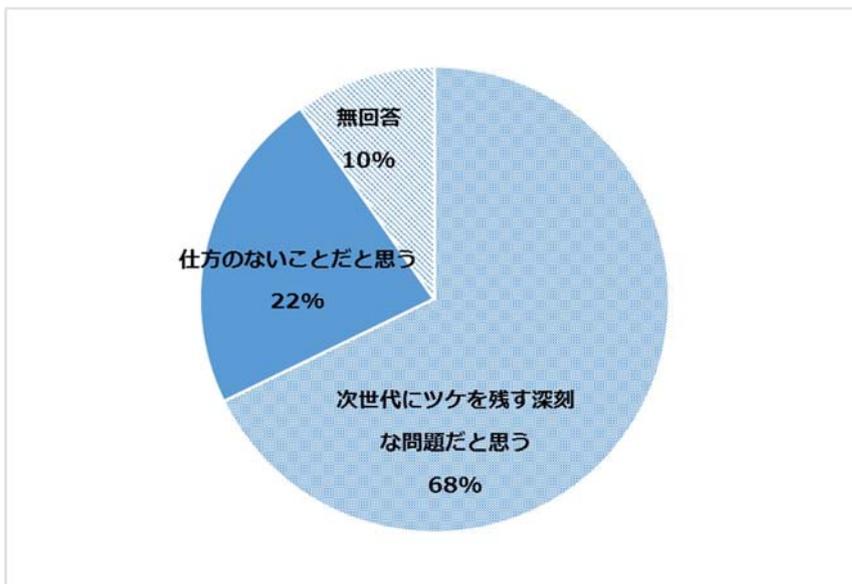
【甲賀地域】



【甲南地域】



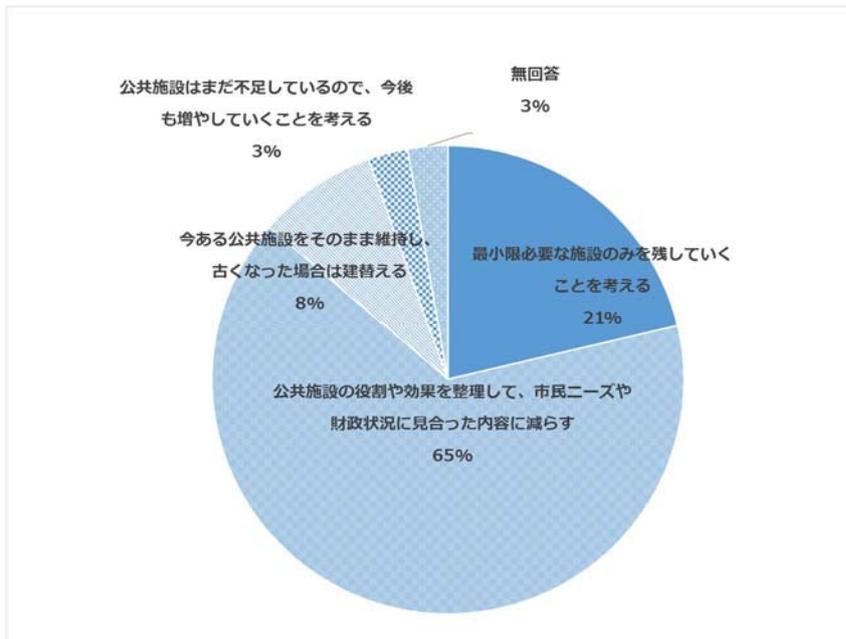
【信楽地域】



**問3. 今後の公共施設の整備や管理運営をどのように進めるべきか。**

(単一回答)

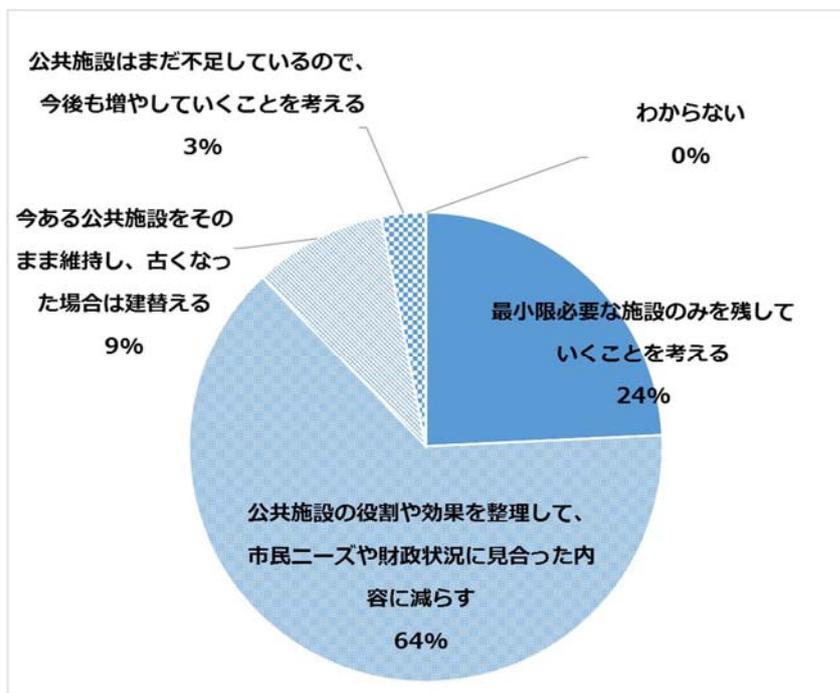
【全域】



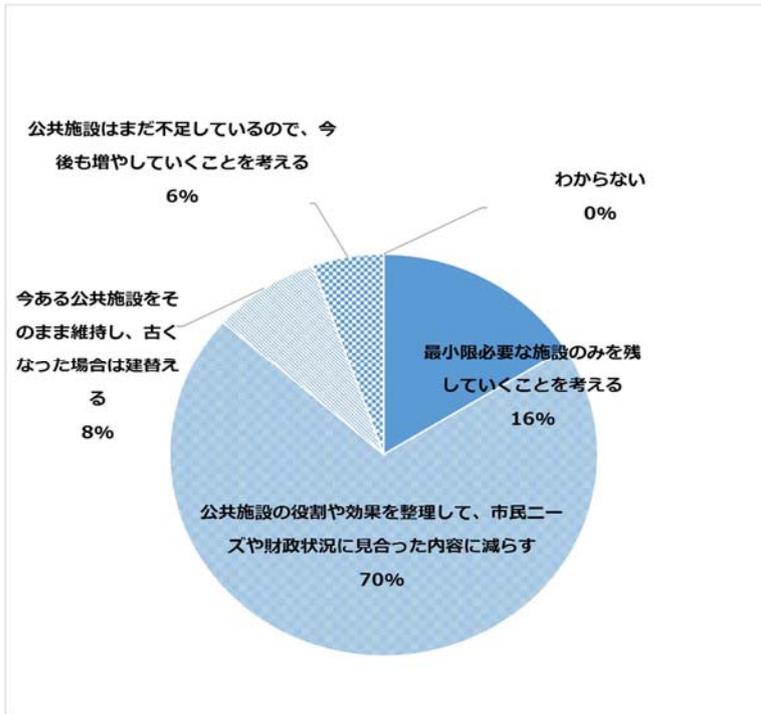
○「最小限の施設のみを残す」「市民ニーズや財政状況に合わせて減らす」が8割を超えており、「公共施設の見直し」はやむを得ないと感じている。

《以下 参考資料》

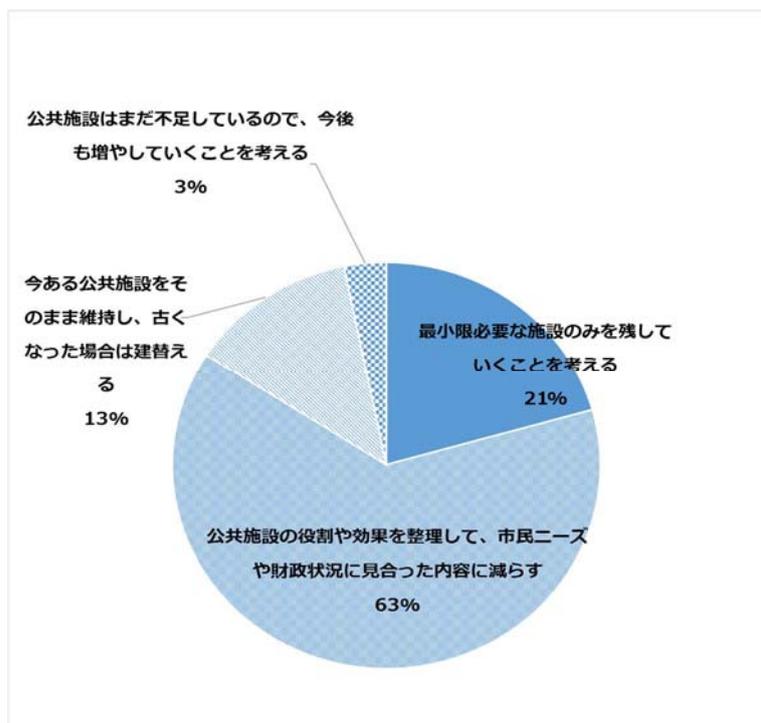
【水口地域】



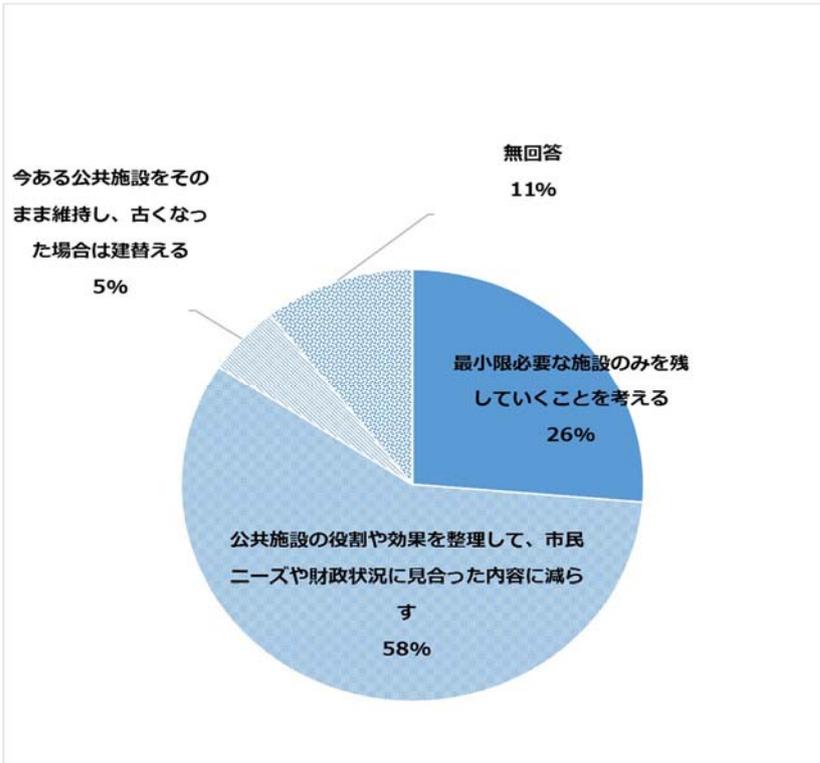
【土山地域】



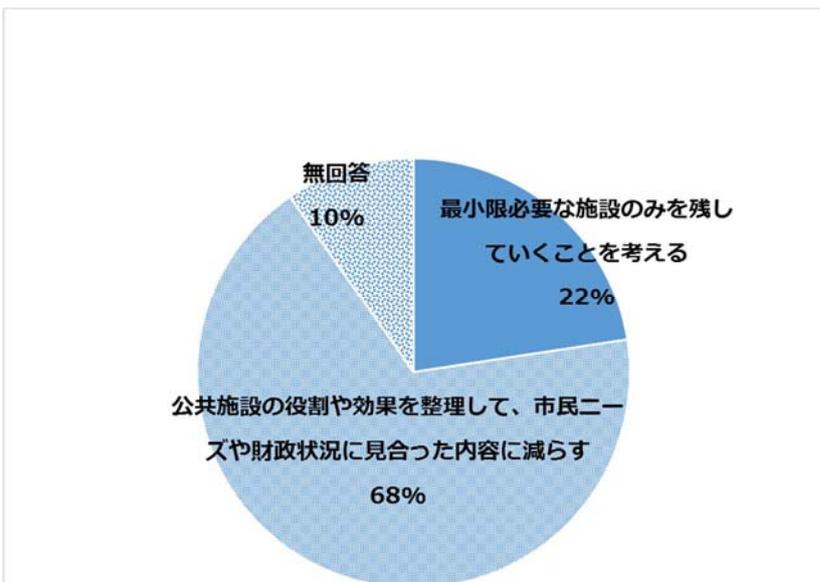
【甲賀地域】



【甲南地域】

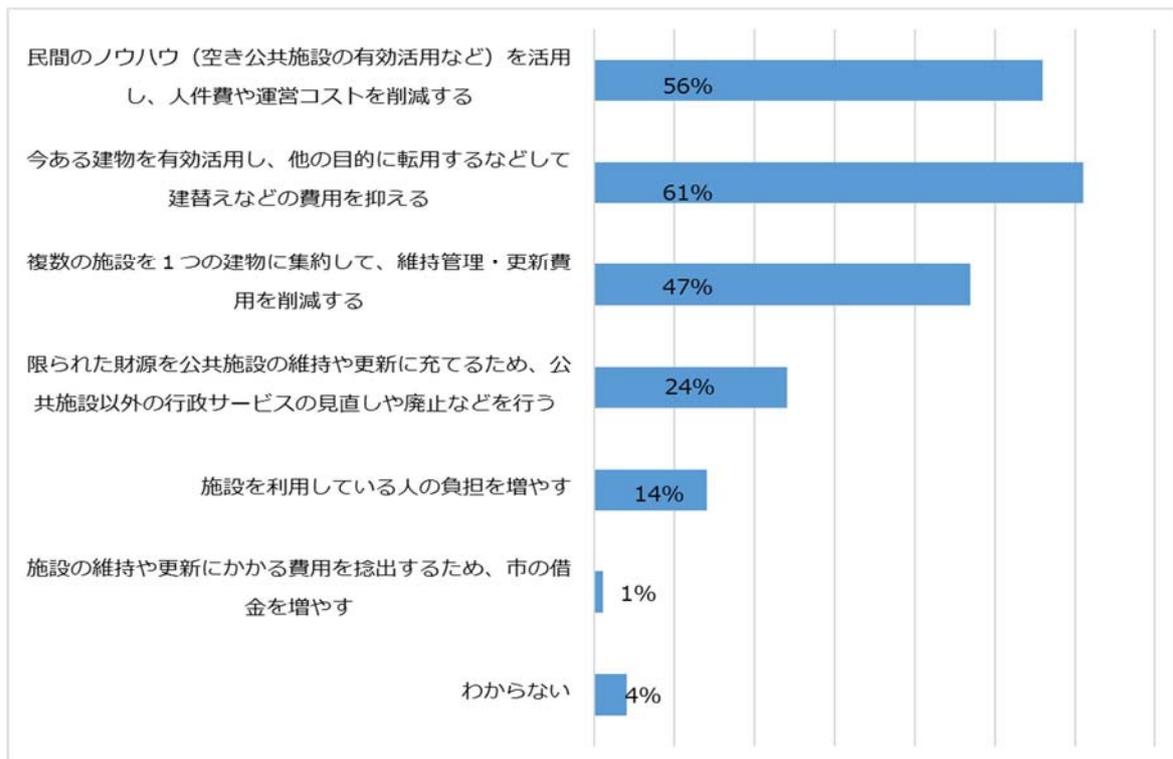


【信楽地域】



問4. 今後の公共施設の維持管理にかかるコスト削減や財源確保をどのように進めるべきか。(複数回答可)

(全域)



○「既存の建物を活かし、建替え費用を抑える」が最も多く、6割。次いで「民間のノウハウを活用する」、「建物を集約して費用を削減する」が約5割となっている。

○回答が少ないのは、「施設の維持更新のため、市の借金を増やす」で1%であった。

## 自由意見について

### 1) タウンミーティングについて

- 住民への周知が足りないのでは。
- もっと時間が必要。短い。
- 若者の意見が必要。
- 資料、データが不足。
- 新しい試みで良かった。
- 他の人の意見を聞いて、「なるほど」と思った。
- 今後も「テーマ」ごとにしてはどうか。
- 旧町域ではなく、学区でしたほうが良い。
- 市長が直接市民に説明するのは良い。

### 2) 市政について

- 広報紙などが無駄。ネットを活用して欲しい。
- 紙をやめて、パソコンを利用して欲しい。
- 公共交通が課題。特にコミュニティバス。
- 市民意識調査で「男女共同参画」は低かったけれど、大切。
- 改善はいつも難しい。思い切ってやってください。
- 職員とのコミュニケーションがとれる場を増やすこと。

### 3) 公共施設について

- 公共施設を作るときの見通しが甘い。
- 高齢者に配慮した統合をして欲しい。
- コストだけでなく工夫を。
- 他市との比較だけで判断してはダメ。
- 中山間地域への配慮も必要。
- 「地域に考えて欲しい」と丸投げしないでください。
- 市が「ランドデザイン」を示して欲しい。
- 市役所は市民に理解してもらえるような努力をすべき。
- 「ないものねだり」ではなく、「あるもの活かし」を。
- 公共交通とセットで考えること。
- 民間の力をもっと使うべき。
- 公共施設を使用したい人に優しく簡単なルールが必要。
- 空き家、空き公共施設の活用を。
- 市民の意見を聞いて進めてください。

#### 4) 個別の施設について

- 公民館の職員が多すぎる。
- 忍の里プララの活用を検討。
- 5町の図書館を3館に。
- 甲南庁舎の活用。
- 図書館の公民館化など、多様な使い方の検討。
- 小学校の統合は、地域の特色、つながりが失われないように
- 平成36年度までに信楽町は小中一貫校に。
- 市民センターのあり方は再検討すべき。
- 公営住宅は需給状態や老朽化との関係をもて方針を。
- 農道の市道認定を進めて欲しい。